

通信型研修講座とは・・・



福井県教育研究所では、平成26年度から、従来の集合研修を「実践型集合研修」と「通信型研修」に分けて実施しています。汎用的な内容を、交流や体験から学ぶことができる「実践型集合研修」に対して、職場や家庭にしながら授業改善や生徒指導等の基礎的で汎用的な知識を獲得できるのが、「通信型研修」です。

2013年に実施された、OECD国際教員指導環境調査（TALIS）では、日本の教員の勤務時間が長いことが話題となりましたが、この調査で、日本の教員の研修意欲が非常に高いことも分かりました。特に、「教科指導」「評価方法」「学級経営」「進路指導」「カウンセリング」については、研修を受講したいと答えた日本の教員の比率が世界一でした。

しかし、同調査では、研修を受講したくても「日程が仕事のスケジュールと合わない」と答えた教員の割合は86.4%で、この比率も世界一でした。このことから、「研修受講意欲は高いが忙しくてなかなか学校を離れられない」という教員が、日本には多いことが分かります。

この問題を解決するのが、インターネットを活用した通信型研修です。いつでも、どこでも、どんな端末でも、自分のペースで研修が受講できます。ひとりでスキルアップするだけでなく、仲間と一緒に視聴したり、校内研修の教材として集団で視聴したりするという活用方法もあります。また、集合型の研修や各学校での訪問研修の事前研修または事後研修としても活用していただけます。

通信型研修は、まず平成26年8月に配信実験を兼ねて10講座でスタートし、現在約120本の講座を配信しています。「いつでも、どこでも、どんな端末からでも」是非とも、通信型研修をご活用ください。